

な表情をすることが分かり、楽器の音色や耳元に響く音を聞く機会を多く持つようになりました。トーンチャイムの音色と響きに表情が変わり、聞いているなという目をします。そのトーンチャイムで『ドレミの歌』を演奏すると、もっと大きく目を輝かせて聞いている様子が伺えます。繰り返し返し提供すると最後のド・ソ・ドに期待し嬉しそうに笑顔を見せます。

また、紙コップに糸を張り耳元で弾くと、その響きを聞いて一緒にいる職員に視線を向けます。繰り返し響きを聞いてにこやかに笑います。Aさんがこのように音に対して期待をして気持ちに向けてることに大きな意味を感じます。

Bさんは、素材を通して職員とのやりとりを楽しみ、その形や動きの変化に注目する様子があります。何かを快く感じたりすると、生き生きとした表情で声を出し相手に視線を向けてきます。その反面、不意に人や物が動いたり、大きな音がすると驚いて一瞬表情を固くしてしまうこともあります。小さな積み木は音や形の受け入れのよい素材として楽しむことができます。職員が「ひとつ、ふたつ、みつ

つ」と、ゆっくり語りかけて積み木を並べると視線を移し見ようとします。また、「たかぁーくなあれ」と積み木を置くと、積み木と職員を交互に見て小さな声を出します。同じように「たかぁーくなあれ」と2個積みみます。だんだんBさんの発声が大きくなり注目する様子が高まっています。次への期待が高まるように間を大切にしながら3個目を積みみます。「トテッ」と積み木がたおれると、それを見て「あぁ」と職員を見て笑います。積み木を積んだり、たおれたりする面白さを職員と共有することが楽しみに繋がります。

一人ひとりにじっくり関わり、利用者が楽しいと感じ満足感が得られる活動を今後も提供していきたいと思えます。



日常活動報告会

2011年12月23日(金)に日常活動報告会を開催しました。各ゾーン毎に各担当職員より、利用者様個々の日常の活動の様子をご家族に報告しました。



通所部では2011年12月19日(月)・22日(木)に活動報告会を開催しました。

3号館竣工式



2012年1月19日(木)、3号館の竣工式が執り行われました。70名を超える方が出席してくださいました。

	11月	12月
ショートステイ	67名 (350日)	71名 (360日)
日中一時支援	2名 (9日)	1名 (9日)
ボランティア	13名 (3グループ)	16名 (4グループ)
実習	8名 (4グループ)	6名 (3グループ)